

◆はじめに

キャリアデザイン学部からあなたへ

皆さんが生きる時代は、前の世代がたどってきた状況とは大きく異なるものになるでしょう。安定した確実性の高い社会から、不安定で先を見通しにくい社会になると考えられています。安定は心地よい面もありますが、新しい発見や発明、発想は、今を変えたいという挑戦的な姿勢から生まれます。不安定な時代におびえるのではなく、いつでも新しいことにチャレンジできる時代と前向きに受けとめて、大学での学びにつなげてください。

私たちの学部は、2003年に設置されました。学部が目指す「人材」は、自分自身のキャリア（生き方）を自律的・主体的にデザインできると同時に、いろいろな場面で他者のキャリア形成を支援する力を身につけている人間です。また、そのような人材が求められるようになった社会の構造を理解し、さまざまな課題に積極的に取り組んでいく意思も培ってほしいと願っています。現在、そしてこれからの時代において、社会のなかで自分の立ち位置を確認しつつ、その一員としての役割をしっかりと担うことができる人づくりを目指しています。

本学部では、これからの社会で求められる知識や能力を皆さんが効果的に修得できるように、授業カリキュラムを継続的に見直しながら改善を進めてきました。カリキュラムの効果を高めるには、いうまでもなく、皆さん自身が意識して、自ら「学ぶ」という姿勢が不可欠です。以下に、学部での学びのポイントを2つ挙げておきます。

①社会を理解する

キャリアデザインとは、「選択の連鎖」であるといえるでしょう。私たちは日々、さまざまな選択の場面に遭遇し、そのときどきに、自分にとって最適と思われる道を選びます。ただし、知らないことは選ぶことができないし、そもそも選択肢に加えることすらできません。例えば、就職活動で業界や企業を選ぼうとしても、知らない業界や企業を選ぶことはできないでしょう。社会の仕組みを知り、自らを社会とつなげていくことで、「選択」に自信をもつことができるはずです。ですから、自分の周囲の社会に関心をもち、気になることがあれば本や新聞で調べる、切り取ってノートに貼りつける、メモをとる、といった作業を続けてください。社会に対するあなたの関心や問題意識が見えるようになると、それが自分自身の研究テーマになり、さらに深い学びへと発展していくでしょう。

②自分を理解する

ある選択肢が示されたとき、右と左のどちらに進むかという決定が「キャリア形成」の重要なポイントになります。選択にあたって拠り所となるのが、自分が大切にしているものは何か、自分は何ができるのか、といったことです。不確実性が高まるこれからの時代、自分にとっての「軸」をもつことがいっそう大事になっていくでしょう。

そこで、大学での学びを通して、自分を知ることが心掛けてください。「強み」や「弱み」も含め、自己を客観的にとらえることは、自分が社会に対してどのような貢献ができるのか、あるいはしたいのか、を考える上でも重要です。そのためには、他者に学ぶことも有効です。他者との関係のなかで自己を相対化することにより、自分をより深く理解することができたり、他者からのフィードバックによって知らない自分に気づいたりすることもあるでしょう。本学部では体験型の授業を重視していますが、これは、多様な体験を通して他者と関わることで自己を見つめ直す、あるいは他者を支援することの意義を理解する、といった効果を期待しているからです。こうした機会を活用しながら、自分自身とじっくり向き合ってください。

大学での学びは、学生一人ひとりの主体的な姿勢が前提になります。学びたいという強い意欲があれば、さまざまな資源や教材を存分に活用することができます。4年間の学びを意義あるものにして、是非、卒業まであなた自身のキャリアの拠り所を築いてください。

2021年4月1日
学部長 荒川裕子

この手引きは、キャリアデザイン学部で学ぶ皆さんがこれから勉学を進めていく上で必要な事柄をまとめたものです。この学部ではどのような科目を、どのようにして学ぶのか、履修・登録の手続きはどのようにするのかなど、大学生活にとって重要な事項が記載されていますので、よく読んでおいてください。

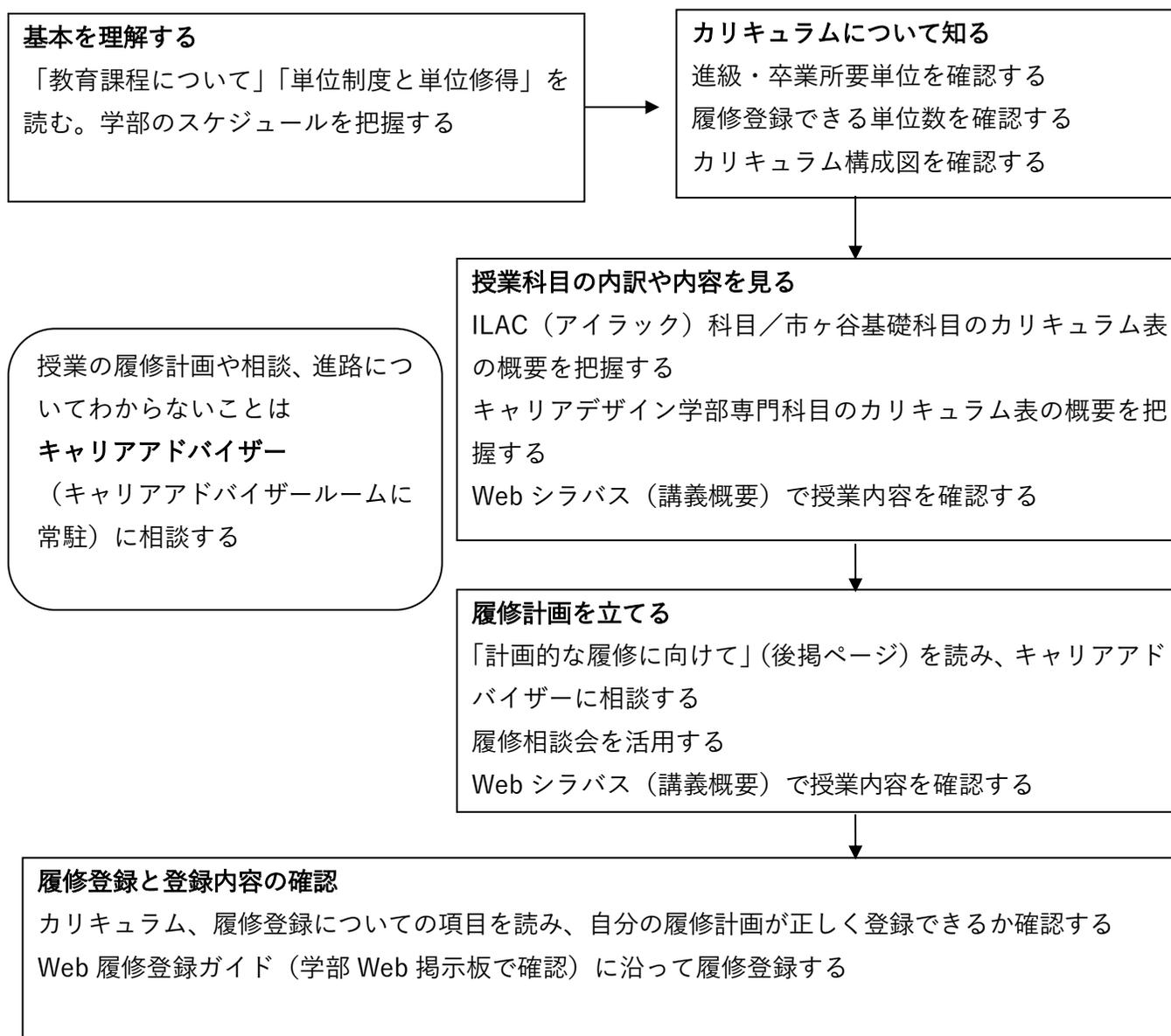
また、この手引きには、授業や成績のことだけでなく、大学での生活のすべてについて記載されています。わからないことは目次を活用し、役立ててください。

この「履修の手引き」の使いかた

- ◆カリキュラム“教育課程について”および“単位制度と単位修得”を読むとともに、◆スケジュールを確認し、大学での学びのシステムの基本を把握してください。
- 学部のカリキュラムについて、卒業や進級に必要な単位や、それに関係する“きまり”を把握してください。
- カリキュラムの授業科目はどのようなものか、内容を確認してください。
- 履修ガイダンスの内容、キャリアアドバイザー制度や履修相談会を活用し、Webシラバス（講義概要）を読んで履修計画を立ててください。
- 授業科目の履修登録の方法にしたがって履修したい授業科目の登録を終了し、カリキュラム表や履修登録についての項目を読んで登録内容を各自でチェックしてください。

* 授業科目の履修のしかたでわからないことがある場合は、キャリアアドバイザーに相談してください。

* 学生のみなさんへの連絡は、基本的にWeb掲示板で行います。必ず確認してください。



ポリシー

学部・学科の理念、目的、教育目標

【キャリアデザイン学部】

(1) 学部等の使命・目的

キャリアデザイン学部は、「生涯学習社会におけるキャリアデザイン」の現状、歴史、理論および拡充の方策等に関する教育・研究を行うことを目的とする日本で最初の学部として、2003年4月に発足した。

高度経済成長期を経て成熟社会を迎えた現在の日本社会では、ひとり一人の個人に、個性的な人生と相互の支えあいを主体的に行うこと＝キャリアデザインが求められている。このキャリアデザインは、ダイナミックに変動する社会における質の高い生活実現の一環であり、そこには、職業人としてのキャリア、家族の一員としてのキャリア、コミュニティの一員としてのキャリア、学びや遊びの主体としてのキャリア、それらを統合したライフキャリア等が含まれている。

キャリアデザインを適切に行うためには、生涯にわたる学習と再学習とそれを可能にする人的資源ネットワークや家族コミュニティ、学校、企業等の基本的諸組織の学習組織としての発展、法や制度等を含む生涯学習社会の拡充が不可欠である。

こうした分野にかかわる研究は、従来、主に学校、コミュニティ、家庭にかかわるキャリア形成と生涯学習社会を扱ってきた教育学、主に企業社会にかかわるキャリア形成と生涯学習社会を扱ってきた経営学、生活文化、コミュニティにかかわるキャリア形成と生涯学習社会を扱ってきた文化人類学等に分かれていた。

キャリアデザイン学部は、これら3つの学問分野の協力によって、キャリアデザイン学を拡充することを、その使命の一つとしている。

(2) 教育目標

以上をふまえた教育によって、企業社会、コミュニティ、教育、学習施設、家庭、病院や矯正施設、教育文化産業等において、生涯学習社会におけるキャリアデザインのサポートと研究を行うことができる人材を社会に送り出すことが、キャリアデザイン学部の教育上の使命である。

その際に社会におけるさまざまキャリア形成と学習の経験をもち、キャリアアップ、キャリアチェンジに強い欲求を持つ社会人の再教育を積極的に位置付けている。

上記の教育的使命を達成するために、①学生がすでに経験している生活や学習の蓄積を学生自身が把握し、自己理解を深めること、②学生の見聞を拡大するために生涯学習社会におけるキャリアデザインにかかわるさまざまな現場に出かけたり、その仕事に携わっている人々の話を聞くこと、③講義などにより、従来の学問蓄積を習得すること、④演習、卒業論文等により、学生による個性的なテーマ設定にもとづく研究を深めることという、カリキュラム構成の基本的理念を設定している。

(3) 当面の目標

卒業生と高校生や在学生との連携を深めながら、本学部が扱う広義のキャリア意識を高める教育を推進する。